

# 令和3年度第52回関東中学校バドミントン大会

## 新型コロナウイルス感染防止に関する留意事項

### 1. 感染防止対策の主な取り組み

- 1) 今大会は無観客で開催する。
- 2) 会場への入場者は、出場登録選手・監督・マネージャー、コーチ、大会役員、競技役員、事前に申請し許可を得た者とする。ただし、コーチについては、団体戦のある8月7日（土）、8日（日）の2日間のみ会場への入場を認める。
- 3) 開会式、閉会式、監督会議は、参加者が密になる状態を避けるため、開催しない。
- 4) 表彰は、種目ごとに順位決定後、随時実施する。
- 5) 選手集合所は設置せず、放送による試合のコール後、観客席より直接コートに移動する。
- 6) コーチング席は1席とする。
- 7) 今大会では個人戦における入場許可申請は認めない。
- 8) 練習会場は設置しない。

### 2. 大会参加者（役員・監督・選手・マネージャー・コーチ）に関する留意事項

- 1) 今大会は無観客で開催する。
- 2) 各チームで会場に入場できるのは、出場登録選手・監督・マネージャー、コーチとする。ただし、コーチについては、団体戦のある8月7日（土）、8日（日）の2日間のみ会場への入場を認める。
- 3) 大会に参加する生徒・保護者は「同意書」（別紙1）を、所属校の校長に提出し、校長は「同意書」を確認の上、大会参加申込書にて参加を許可する。同意書は学校保管とする。
- 4) 出場選手及び監督等は、大会前2週間分の体調を体調記録表（別紙2）に記録し、健康管理に努めること。体調記録表は監督が管理すること。
- 5) 引率責任者（監督等）は、「会場入場者名簿」（別紙3）に必要事項を記入し、大会当日持参する。「会場入場者名簿」（別紙3）は、大会に参加する各日、大会会場受付に提出する。
- 6) 大会役員は受付時に会場入場者名簿に必要事項を記入する。
- 7) 引率責任者（顧問等）は、次の項目事項を確認し、該当する場合は、参加を見合わせる。（大会当日、書面で確認を行う）
  - ① 体調がよくない（例：発熱・咳・倦怠感などの症状がある）。
  - ② 味覚や嗅覚に異常がある。
  - ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる。
  - ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。
- 8) 参加生徒を含む大会関係者は全員マスクを持参し、競技等実施時、飲食中を除いてマスクを着用すること。（熱中症等の健康被害が発生する可能性が高い場合は外させる。）
- 9) 手洗い、アルコール等による手指消毒等による感染症の予防をする。
- 10) 他の参加者、大会関係者等との距離を確保する。
- 11) 大きな声での会話や応援（声援）の禁止。
- 12) 大会（試合）前後のミーティング等においても、三つの密を避けること。
- 13) 観戦は、指定された席で行う。座席は前後両隣の席をあけること。また座席を移動しない。
- 14) 観戦中の応援は、声を出さず拍手のみで行う。座席を移動しての応援はしない。
- 15) 感染防止のために主催者が決めた措置の遵守、主催者の指示に従う。
- 16) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

### 3. 大会開催への配慮及び準備に関する留意事項

- 1) トイレ、手洗い場所
  - ・関係者が触れると考えられる場所（洗面台、ドアノブ等）をこまめに消毒する。
  - ・洗面所には、石鹼やアルコール等の手指消毒剤を用意する。
  - ・手指乾燥機は使用しない。
- 2) 更衣室、食事・休憩・待機スペース（参加者）
  - ・更衣室は使用禁止とする。
  - ・昼食場所は観客席または会場外とする。観客席で食事をする場合は、前を向いて黙食とし、会話をしたの食事は禁止する。
  - ・参加者の待機スペースは、利用可能範囲を示し、使用場所を指定し席の移動を禁止する。
- 3) 大会本部及び大会役員控室
  - ・大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
  - ・役員控室の使用時は、人数を制限する。
  - ・可能な限り常時、窓や扉を開放する。
  - ・運営物品や共有物等は、定期的に消毒を行う。
- 4) 競技場所（競技スペース）及び競技関係用具類等
  - ・遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
  - ・窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。なお、常時換気できる設備がある場合は、可能な限り使用する。
  - ・コートのもップ掛けは、試合終了後に行う。
  - ・毎試合終了後、審判台・線審席・得点板等を消毒する。
- 5) 競技関係者及び競技中の確認事項
  - ・主審、線審、得点係は、マスクを着用する（水分補給を促し、熱中症対策を講じる）。
  - ・試合終了後、線審・得点係は、審判台・線審席・コーチ席・得点板を消毒する。
  - ・選手同士や審判員との握手は行わない。
  - ・トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
  - ・コールは、必要最小限とする（「プレイ」「フォルト」「レット」「ゲーム」のみで行う）。
  - ・ポイントのコールはせず、得点板で点数を表示する。
- 6) 観客・観客席の管理
  - ・観客席は指定された都県の場所を使用する。
  - ・応援は声援を不可とし拍手のみとする。
- 7) ごみの処理
  - ・感染拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。

### 4. 大会当日の留意事項

- 1) 会場の入り口及び各所に、アルコール等の手指消毒剤を用意する。
- 2) 当日は、大会会場入り口で、入場時の検温を行う。
- 3) 参加チームは、大会会場到着時、持参した「会場入場者名簿」（別紙3）を会場受付に提出する。

### 5. 競技に関する留意事項

- 1) ウォーミングアップや試合でコート内にいる選手以外は、常にマスクを着用すること。
- 2) コートへの入退場は、館内放送に従い、速やかにコートに集合する。
- 3) コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドに置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。
- 4) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。
- 5) 床の汗拭きは、もップを使用する。

- 6) 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- 7) プレーヤー同士や監督、コーチとハイタッチ等の接触を行わない。また、審判、プレーヤーは握手等の接触を行わない。
- 8) コーチング席は1席のみとする。コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。選手がエンドを変更する際は、選手と共に移動する。

## **6. 参加生徒または監督等の感染が判明した場合の対応**

- 1) 大会前
  - ・該当参加生徒、監督等、濃厚接触者と特定された者の出場（入場）は認めない。
  - ・団体競技においては、参加申し込み後の選手変更を認める。
  - ・個人競技においては、欠場とする。
- 2) 大会期間中
  - ・発熱等の症状を訴える参加生徒を確認した場合、保護者に迎えに来てもらい速やかに帰宅させる。
- 3) 大会後
  - ・感染者の所属する学校や行政機関の指示に従う。
  - ・当該の競技専門部は、速やかに事故報告書を作成し、関東中体連事務局と感染者が参加した大会当日に会場内にいたすべての者に連絡をする。

※状況により更新することがあります。大会ホームページで最新版を確認してください。